

立命館スポーツフェロー「総会・懇親会」と体育会本部が主催する「体育会歓送会」の合同開催について

考え方

体育会本部・スポーツフェロー双方にとって、今後の発展・充実を考える中で現役学生と各部 OB・OG との交流、並びに大学との関わりは重要な課題である。そこで、体育会本部・スポーツフェローでは、双方のおこなう事業の中で体育会本部主催の「歓送会」、スポーツフェロー主催の「懇親会」の開催目的を明確にして、より一層の充実を図ることから、従来の「歓送会」(2月)、「懇親会」(5月実施)の発展的解消をおこない、体育会・スポーツフェローの 共催事業として「立命館大学体育会歓送会」(2月実施・新規・仮称)を開催し、立命館スポーツのより一層の発展充実を促進する。

学生諸君にとっては、今回合同開催する歓送会の持つ意味は2つある。

1つは、体育会4回生を送り出す祝福の場という点である。

体育会本部では、一般学生とは異なる取り組みをしてきた体育会生の努力を労い、多方面の仲間とともに歓談や表彰そしてVTRを通して活動の軌跡を辿り、新しい世界への飛び立ちを祝福する会として位置づけている。参加する4回生にとって自身の4年間を振り返る機会にし、努力の過程と結果を糧に新しいステージでの挑戦のモチベーションとなることを願っている。

2つ目は、参加者全員が「立命館大学に関わりのある一員」であることを自覚する場という点である。

大勢の仲間を目にしたとき、参加者は立命館大学の体育会生であることを再度自覚する機会となる。現役の学生諸君にとっては、立命館大学は所属大学であるが、卒業後も立命館大学体育会 OB・OG としてスポーツフェローの一員となる。立命館大学という名は、入学した瞬間から各人の歴史の一部となり生涯ついて回るものである。又、参加者全員に共通するのは、立命館大学の一員であるということである。

皆が一つの組織に所属する一員という意識を感じる場となり、今後一層の立命館としての発展が期待できる。高校時代とは異なる自由度が高い大学生活4年間は、社会人となる一歩手前の時期として大変大きな意味がある。自ら考え決断し行動していく主体性が問われる身分でもある。その時期に試行錯誤し一つの目標に向かって共に頑張り合った仲間は、生涯の宝になると考える。

部活内の仲間はもちろん、同期として他部活との交流もそうである。その「歓送会」という正式な交流の場に参加する事で、立命館大学の多くのスポーツ関係者に、再会または新たな出会いの機会を提供し、学生諸君の今後の発展・活躍を祈念するものである。

打ち合わせ	<p>【打ち合わせ実績】</p> <p>5月 日時：2014年5月7日 10:00～12:00 場所：京都ホテルグランヴィア 出席：横山（体育会本部役員）。林副会長、田中、山本、クリッチェリイ</p> <p>6月 日時：2014年6月10日 11:00～14:00 場所：京都駅前スターバックス 出席：横山（体育会本部役員）。田中、クリッチェリイ</p> <p>7月 日時：2014年7月9日 11:00～13:00 場所：衣笠ゆんげ 出席：横山、森田（体育会本部役員）。田中、クリッチェリイ</p> <p>8月 日時：2014年8月1日 11:00～14:00 場所：衣笠スポ強会議室 出席：横山、森田（体育会本部役員）。田中、クリッチェリイ、（林副会長）</p> <p>日時:2014年8月22日 10:00～ 場所:京都ホテルグランヴィア</p>
打ち合わせ内容	<ul style="list-style-type: none"> ・フェローと体育会本部の考え方のすり合わせをおこない課題点の共有を行った ・9月以降 具体的な案の作成をおこなう (式次第、参加者、各部案内、表彰内容、準備スケジュール等) ・11月以降 具体的な準備

目的	<p>1、立命館スポーツフェローの目的である。「会員相互の親睦を図り。立命館大学体育会の活動を支援し、もって立命館スポーツ及び母校の発展と充実に寄与する」を鑑み、大学当局、現役学生を交え「立命館スポーツの集まり」として、より一体感のある「懇親会」に発展させる。</p> <p>2、会において立命館スポーツの担い手である学生の4年間の活動を評価し卒業に際して表彰をおこなう。また、従来のスポーツフェローの表彰もおこなう。</p> <p>3、体育会各部の学生に各部OB・OG会組織および体育会OB・OG会組織である立命館スポーツフェローの活動内容に対する理解を求め、卒業後は、彼らが各部のOB・OG会及び立命館スポーツフェロー会員としての活躍を促す。</p> <p>4、体育会各部を統括する体育会本部と立命館スポーツフェローが連携を強化することで、立命館スポーツの発展と充実に寄与する</p>
名称	<p>《 2014年度 立命館大学体育会歓送会 》</p> <p>・主旨説明を各部関係者、OB・OGに十分に行い体育会本部、スポーツフェローの共催事業であることを徹底周知する。</p>
主催	立命館大学体育会本部及び立命館スポーツフェロー
日時	<p>2015/2/11（祝日） 17:00時開始 ホテルの利用時間は15:00～20:00</p> <p>リハーサル 15:00～17:00 本番 17:00～20:00</p>
会場	<p>ホテルグランヴィア京都（担当武吉090-6660-5460）</p> <p>メイン会場 控室 1、来賓 2、応援団 3、体育会本部分必要</p> <p>*体育会本部は終了後 ミーティング開催予定</p>
内容	<p>式次第 検討</p> <p>「開会」 30分～45分 挨拶 来賓紹介</p> <p>「表彰」 30分～45分 ① 体育会表彰（従来）</p> <ul style="list-style-type: none"> 1・体育会名誉会長賞（フェロー会長） 2・体育会委員長賞（本部委員長） 3・体育会本部賞（本部副委員長） 4・体育会奨励賞（本部委員長） 5・The Greatest of Ritsumei（本部委員長） 6・The best manager of Ritsumei（本部委員長） <p>② スポーツフェロー表彰（従来）</p> <ul style="list-style-type: none"> 7・スポーツフェロー会長賞（フェロー会長） 8・会長功労賞「組織運営」（フェロー会長） 9・会長功労賞「指導者」（フェロー会長） 10・スポーツフェロー会長特別賞（フェロー会長） <p>「懇親会」90分～120分 ① 歓談</p> <p>応援団ステージ 20分・VTR分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来賓の記念品(手土産)・・・フェローが準備 ・4回生への記念品・・・体育会本部が準備 ・アトラクション 応援団のみ・・・歓談の時間を多くする ・司会・進行等当日の執行体制（次第・シナリオ） ・進行・シナリオの作成 RBC?
来賓	<p>5テーブル準備・・・約50名程度（案） 例年の来賓者を参考に決めていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学関係者（●）名 ・他大学スポーツ関係者（15～20）名 ・学生含む ・行政・企業関係（●）名 ・報道関係（●）名 ・父母会・校友会（8～10）名 ・大学職員含む

	<p>* 体育会本部・スポーツフェロー・スポ強で来賓の選出を行い、「主催者連名」で案内状の発送を行う 来賓選出は要検討</p> <p>* 部長、副部長、監督、コーチ、学生は各部関係テーブルに席を準備する</p>
参加者数	<p>体育会本部関係 : 各部 4 回生とクラブ幹部 350 名-400 名程</p> <p>スポーツフェロー関係 : 部長、副部長を含めて 350 名-400 名程</p> <p>* 来賓数(50名)を含めて検討必要</p>
会費・財務	<p>共催とするが、フェローの予算枠と学生の予算枠の確認が必要 検討必要</p> <p>・ 今回の事業の一番の目的は「学生とフェローと大学の一体感の醸成」であるので内容の伴った会にする必要があるが、学生の参加費用には限界があるので¥5000の徴収とする。また、フェローから学生に補助する必要があるため、一般は現行の@8000から¥10000とする。</p> <p>検討 * 学生の補助については・・・大学に指定寄付を行い体育会本部へ寄付する 寄付のメリット⇒寄付を行った場合、スポーツフェローから大学への寄付として実績が残る</p> <p>検討 * 会費徴収の仕方 受付の仕方 各部現役学生分と一般 (OB、OG、指導者、部長、副部長)</p>
準備委員会	<p>体育会本部、スポーツフェロー、スポーツ強化センターで、打ち合わせを十分に行う。</p> <p>・ 体育会本部 横山(4回生)・森田(2回生)</p> <p>・ スポーツ強化センター 布施(課長) 長谷川</p> <p>・ スポーツフェロー 田中(幹事長) クリッチェリィ(委員)</p> <p>* 総務委員会、表彰委員、事業委員、広報委員から選出</p> <p>* 三者で意見調整を行い「立命館スポーツ」の懇親会として学内、学外に向けて「立命館スポーツ」をアピールするのに相応しいものにする</p>
準備事務室(仮称)	<p>学内、スポーツ強化センターに協力を求める</p> <p>・ PC、f a x、書類の整理管理 発送作業 (拠点となる場所が必要)</p>
検討課題	<p>【表彰方法について】 継続検討</p> <p>表彰をどう膨らますか、演出をどうするか、時間の短縮などが課題</p> <p>・ 方法①パンフレットの活用 表彰者の掲載 (アナウンスはしない) パンフレットに表彰者の写真を入れる ・ パンフレット作成費用 1000部作成 一部@〇〇円 費用?</p> <p>・ 方法②アナウンスとプレゼンター 複数名の同時表彰</p> <p>・ 「検討課題」体育会所属以外の学生への表彰については、フェロー側は問題なし</p>
パンフレット作成	<p>業者の選定⇒ 体育会本部の関連業者で発注 (学友会費と助成金申請で対応可能か)</p> <p>内容 1 式次第 2 来賓一覧 3 表彰者一覧 4 本部役員 (新旧) 5 学園歌・応援歌 6 席割・座席表 7 11 ページ 2014 年体育会全戦績 22 ページ (予定)</p>
【参加者について】	<p>【参加者について】 要検討</p> <p>・ 来賓体育会本部、スポーツフェロー、スポ強で選考 計 (50 名)</p> <p>・ 各部フェロー 部長・副部長 監督・コーチ、OB・OG 計 (350-400 名)</p> <p>学生 4 回生 (●) 名 + 幹部部員 (●) 名 計 (350-400 名)</p> <p>合計 (800 名以内)</p>

【受付】	<ul style="list-style-type: none"> ・当日参加の対応・・・・・・・・各部で対応 ・クラブ単位（OB・OG、部長、副部長、監督、コーチ+学生）でテーブル配置 ・クラブ名と人数を明示する テーブル配置は毎年入れ替える(検討) ・名札は必要であるが名前の記載をどうするか？ <p>【受付について】 会費徴収と関係</p> <p>継続 スポーツフェロー ⇒ OB・OG 部長、副部長、監督・コーチ 体育会本部 ⇒ 学生 スポ強・フェロー・学生 ⇒ 来賓</p>
【案内・集約】	<p>【案内・集約について】 検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連名で案内状を発送する。 12月に連名で発送 ・集約について 学生が集約？ スポーツフェローで集約？ ・シンプルに確実に集約できる方法を検討する。
【実施において】	<p>【実施において】</p> <p><u>「立命館大学体育会歓送会」の合同開催を継続させるために、シンプルに開催が可能なものにする</u></p> <p><u>・1年目は少し足りないくらいのものである（翌年に要望を残す）</u></p> <p><u>・スポーツフェローと学生とOB会の意識の差を埋める</u></p> <p><u>9月以降フェローとしては、総務、事業、広報、財務、表彰の各委員会と連携していく</u></p> <p><u>共有：共通認識のために流す</u></p>

今後のテンポ	体育会本部	スポーツフェロー
8月・9月 9/9 (火) 打ち合わせ 9/27 (月) 常任幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテル打ち合わせ 確認 当日時間と会場レイアウト ・領収書確認(本部とフェロー) ・タイムテーブルの作成 ・パンフ作成 内容と業者 ・来賓招待者決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備委員会 人選 9月上旬 総務・事業・財務・表彰連携 ・タイムテーブルの確認 9月27日常任幹事会 ・パンフ内容の確認 ・来賓決定 (スポ強) ・寄付の件 (スポ強)
10月・11月 10/ () 準備委員会 10/13 (月) 常任幹事会 11/ ()	新本部役員 <ul style="list-style-type: none"> ・主務会で公示(締切 11月中旬) ・表彰関係 (各部写真) 戦績提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・表彰について 10月13日常任幹事会 (パンフ作成タイムテーブルに合わせる) ・出欠の確認
12月・1月 12/20 (土) 常任幹事会 12/ 1/ 2/ 準備委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットの完成確認 ・楯、手土産の発注 ・パネル完成 <p>2月11日 歓送会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット完成 ・当日 準備委員会